

経営戦略 中小企業に提案

大学生が中小企業の経営課題についてゼミ単位で調査する「課題解決ラボ」の成果発表会が25日、神戸ハーバーランドであった。兵庫県内外の13大学18ゼミの学生約240人が参加。ゼミでの研究や学生の視点を生かし、販売促進方法などを提案した。

中小企業と大学生の就職マッチングを支援する「Mラボ」事業（神戸新聞社、県中小企業団体中央会主催）の中核事業。

各ゼミは今年6月以来、企業を訪問するなどして調査を進めた。この日、18ゼミの学生が20チームに分かれて成果を発表した。

神戸 学生240人 研究成果を発表

グランプリは「地域性による認知度の違い」（ファミリア）という課題に取り組んだ立命館大の金昌柱准教授（小売戦略）のゼミ。アンケート調査に基づき、贈答品にプレゼント情報などを入れることでリピーターを増やすというアイデアを提案した。3年の四柳幸治さん（20）は「統計学を実際のビジネスに応用できた」と話した。

一方、企業側も積極的な受け止めが目立った。通信販売の商品の中にメッセージカードを入れるという提案を受けた化粧品メーカー、リアル（神戸市兵庫区）の久保尚子社長



研究発表する学生たち＝神戸市中央区東川崎町1
（撮影・神子素慎一）

（50）は「ビジネスに取り入れたい」と話していた。（西井由比子）

その他の成績は次の通り。

2位Ⅱ関西大・西岡ゼミ（レック）▽3位Ⅱ関西学院大・川端ゼミ（ケンミン食品）▽審査員特別賞Ⅱ兵庫県立大・山口ゼミ（植垣米菓）

